



広岡今日子  
コレクション

# 装いの 上海モダン

—近代中国女性の服飾—



## 目次

ごあいさつ	3
失われた「旗袍」を求めて 広岡今日子	4
日本人の見た中国服 成田静香	8
旗袍と中国伝統演劇 藤野真子	11
年表	14
図版	15
解説	68
資料リスト	76
参考文献	79

### 凡例

- ・本図録は2017年10月28日(土)～12月16日(土)に開催する展覧会「装いの上海モダン－近代中国女性の服飾－」(共催 関西学院大学言語教育研究センター)の図録である。
- ・出品資料は全て広岡今日子氏の所蔵である。
- ・掲載番号は展覧会場の列品番号と対応するが、陳列順序とは必ずしも一致しない。
- ・会場に展示した資料のうち、一部の参考出品資料は図録に掲載していない。
- ・図版頁に掲載した資料情報は、掲載番号、資料名称、年代の順に記した。
- ・資料解説は広岡今日子氏が執筆した。
- ・本書の編集および構成は、高木香奈子(関西学院大学博物館学芸員)が担当し、中本和、倉田麻里絵(関西学院大学博物館学芸アシスタント)、小澤みのり(関西学院大学博物館)が補助した。

本書に掲載された写真および記事を無断で転載することを禁じます。

## ごあいさつ

関西学院大学言語教育研究センターでは、多様な言語教育科目を提供しています。そのなかで、隣国として古くからわが国に大きな影響を及ぼしてきた中国および中国語圏の文化について、より深い理解を得ようという考えのもと、2014年度から中国文化週間を開催してきました。この企画展は、中国文化週間と連動し、大学博物館との共催によって開催するものです。

本展の主要な展示品である、いわゆるチャイナドレスは、中国語で旗袍チーパオと言います。日本では中国女性の伝統的な服装と思われがちですが、その歴史は意外にも浅く、近代に登場し、1920年代から30年代に全盛期をむかえます。しかも身体にぴったりと沿い、深いスリットが開いた形は、旗袍100年の歴史のなかでも比較的新しいものです。

今回、日本有数の旗袍コレクターである広岡今日子氏の貴重なコレクションから選りすぐりの品々をお借りしこの企画展の実現をみたのは、たいへんありがたいことです。今回の展示では、広岡コレクションのなかから上海で着用された旗袍を中心に近代中国女性の服飾文化を紹介いたします。

近代中国のファッションの発信地であった上海は、関西学院とも縁の深い地です。本学の創立者ウォルター・ラッセル・ランバス(1854-1921)は、アメリカ人宣教師の子として上海で生まれ育ち、宣教活動を開始しました。その後、1886年来日し、1889年神戸の原田の森に関西学院を創立しました。

本展覧会が観覧者のみなさまにとって異国の文化への理解を深める一助となりますように、中国文化週間をはさむ50日間に学内外の多くの方々に御覧いただきたいと願っています。

関西学院大学言語教育研究センター  
関西学院大学博物館



3  
1920年代のコーディネート  
1920年代



4  
明治製糖株式会社ポスター  
1928(民国17)年



17  
旗袍  
1930年代



18  
インダンスレン布のポスター  
1930年代